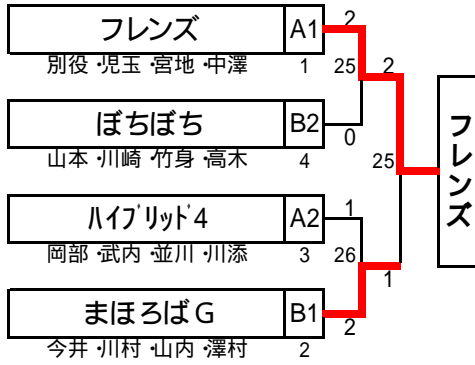


第52回南国市民体育祭ラージ卓球大会 トーナメント戦

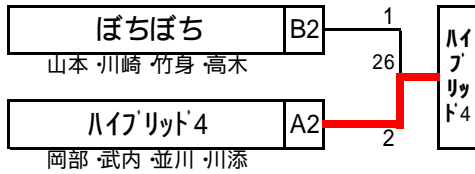
平成26年11月3日

団体戦 1部

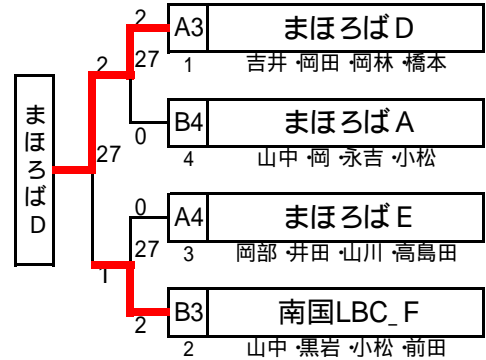
1部 1・2位



3位決定戦

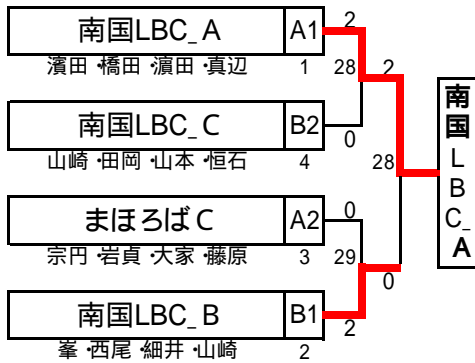


1部 3~4位



団体戦 2部

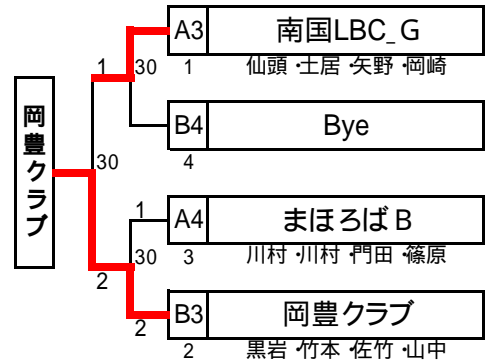
2部 1・2位



3位決定戦



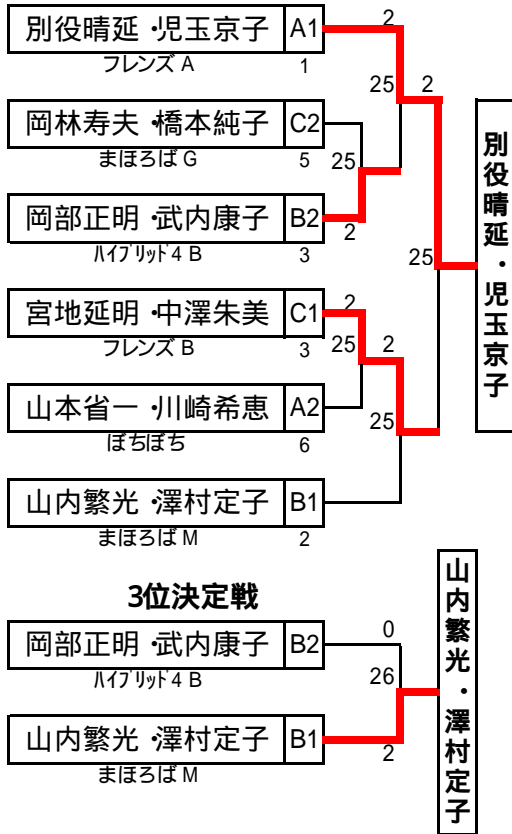
2部 3~4位



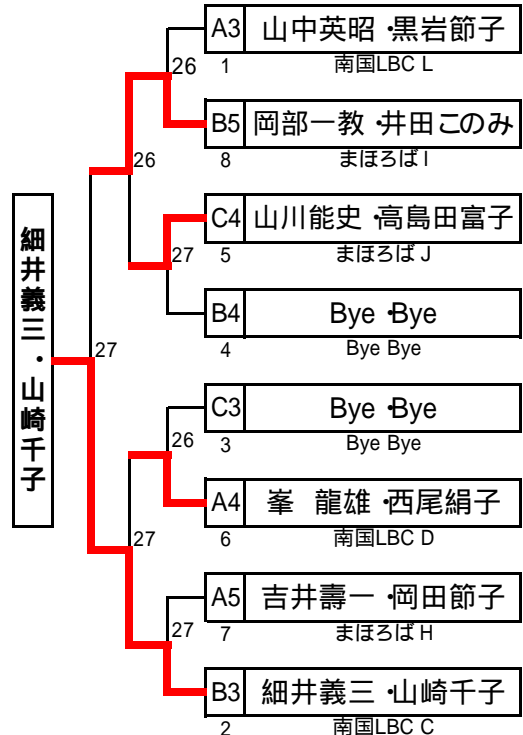
第52回南国市民体育祭ラージ卓球大会 トーナメント戦 混合ダブルス 1部

平成26年11月3日

1部 1・2位



1部 3~5位



余白を利用して、ラージボール卓球20周年記念誌の作文を紹介させていただきます。

全国大会に挑んで 児玉京子

私が初めて全国大会へ参加したのは、平成5年の滋賀大会、満50才の時でした。始めたばかりのラージボールに、うきうき気分で行った会場には、全国から大勢の愛好者が集まり、始めたばかりうようよと動く人々を見てるだけで、空気に酔って、試合を楽しむどころか、あっけなく負けてしまいました。その会場で必死に戦う同年配達の見事なラリーの応酬は、観ている私をとりこにしたようです。「卓球のすごさ」を魅せつけられました。私の内に、何時の日にかメダルを手にしたと言う思いがうまれてきました。その大会を機に、時間を作っては、せっせと安芸のクラブへ、浅野さんと練習に通いました。二人でラージボールへの熱い思いを話しながら、通いました。(中略)

千葉、岐阜、昨年の沖縄大会では、混合ダブルス130才Bで武内さんと金メダル、女子ダブルス130才Bで川江さんと銅メダルに入り、抱き合って喜び合いました。ダブルメダルの嬉しさは格別でした。今年も6月に神奈川大会へ参加しました。日本列島の中央とあって、驚異的な参加者数2,700人、60台を並べての開催でした。全国の友と賑やかに語り、多くの夢をもらってきました。人生の内での、最も、喜びの時間を過ぎてきました。

これも全てラージボールに出会ったお陰と、心から感謝しております。これからも、健康な限り、全国大会に挑みたいと願います。

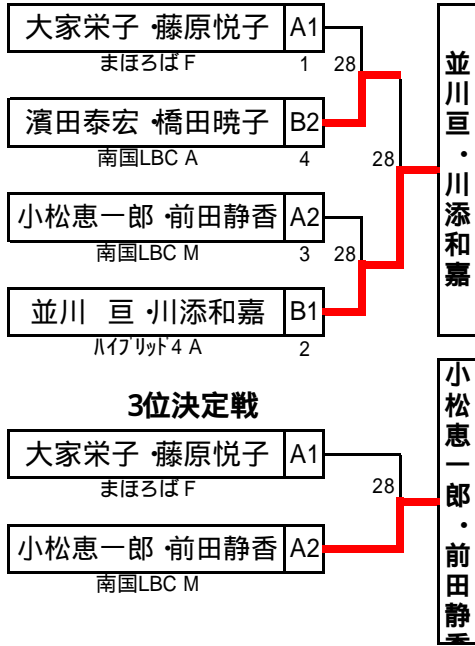
平成20年7月

第52回南国市民体育祭ラージ卓球大会 トーナメント戦

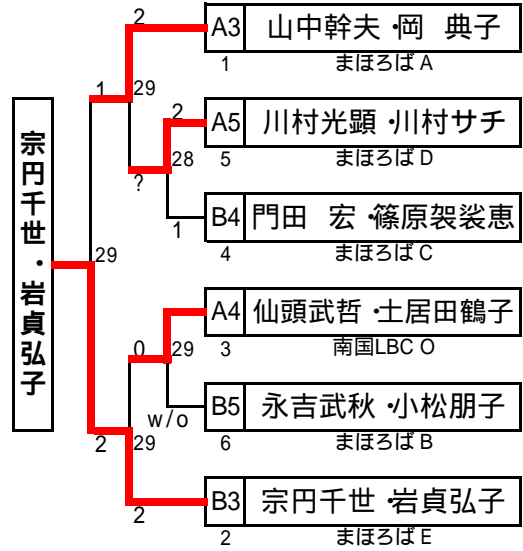
平成26年11月3日

混合ダブルス 2部

2部 1・2位

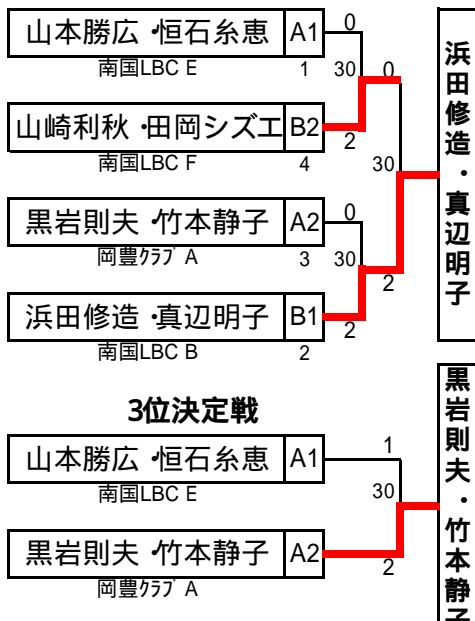


2部 3~5位



混合ダブルス 3部

3部 1・2位



3部 3~5位

